

福井市立図書館リニューアル事業基本構想【概要版】

1. 本構想の目的

市立図書館を再整備するにあたって必要となる調査・分析を行うとともに、「福井市立図書館リニューアル事業基本構想・基本計画策定委員会」や市民アンケート調査などを通じて市民意見を集約・反映し、市立図書館の目指すべき方向性や求められる機能等について基本的な考え方を明らかにすることを目的とします。



2. 基礎調査

2-1. 現状の把握、分析

2-1-1 図書館の現状の整理

◎沿革・各館概要

- 市立図書館は、昭和51年に大学・高校などが集中する文教地区に開館しました。その後新館の整備や市町村合併を経て、現在は市立図書館、みどり図書館、桜木図書館、美山図書館、清水図書館の5館体制でサービスを提供しています。
- 5館と移動図書館車による全域的・均質的サービス網の上に、各館で特徴的サービスを展開しており、市立図書館は中央館的役割などに特徴があります。

◎所蔵資料の状況（市立図書館）

- 蔵書は約451千点（平成28年度）で、蔵書の75%程度を一般書が占めています。
- 貴重な古書（松平家から寄贈された藩校蔵書からなる「越國文庫」）や多くの郷土資料を所蔵しています。また、視聴覚資料は所蔵していません。

◎利用の状況（市立図書館）

- 来館者数は市内で3番目、貸出利用者数は1番目、貸出冊数は2番目です。
- 児童書の利用は増加していますが、一般書・雑誌は減少傾向です。
- 児童、高齢者の利用率が高い一方、若年層では大きな減少が見られます。
- 周辺住民の利用が多い一方、遠方地区住民の利用は少なくなっています。
- 午前中や夕方利用が多く、土曜日・日曜日の利用が多くなっています。

◎他自治体との比較

- 本市全体で見ると、蔵書冊数や資料費は同規模自治体と比較すると上位水準ですが、貸出数や予約件数は下位となっています。
- 市立図書館（中央館）のみで見ると、蔵書冊数、貸出数、予約件数、資料費のすべての項目で下位水準です。

2-2. 立地条件および既存建物の状況

2-2-1 計画地の位置

- 市立図書館は、福井鉄道・えちぜん鉄道田原町駅近隣に立地しています。
- 周辺に小学校、中学校、高校、大学、美術館などの教育文化施設が多数立地しています。

2-2-2 敷地概要

- 建物に隣接して専用駐車場、公園があります。
- 玄関前広場（右図）から内部はみえない状況です。



2-2-3 既存建物概要

- 蔵書の収容能力の限界を超えています。

2-3. 総合計画、上位計画、福井市図書館基本方針等との整合性の整理

まちの活性化や人々の交流の創出／賑わいの創出
管理運営の効率化と図書館サービスの一層の拡充／資料の充実
レファレンスサービスの充実／利用時間帯・運営体制の整備／施設整備



市立図書館概要

所在地	文京2丁目7番7号
開館年月	昭和51年8月2日
延床面積	3472.1㎡
駐車台数	74台（内、障がい者用5台）
職員数	23人
開館時間	10:00-19:00（火・土・日 -17:15）
休館日	毎週月曜日等
開館日数	281日（H28年度）
入館者数	168,635人（H28年度）
蔵書冊数	451,034冊（H28年度）
貸出冊数	360,792冊（H28年度）

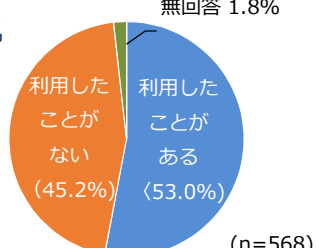
3. 市民ニーズ

3-1 市民アンケート調査実施概要

対象	13歳以上の福井市民2,000名
期間	平成29年11月10日～19日
方法	郵送配布・回収
有効回答数	568票

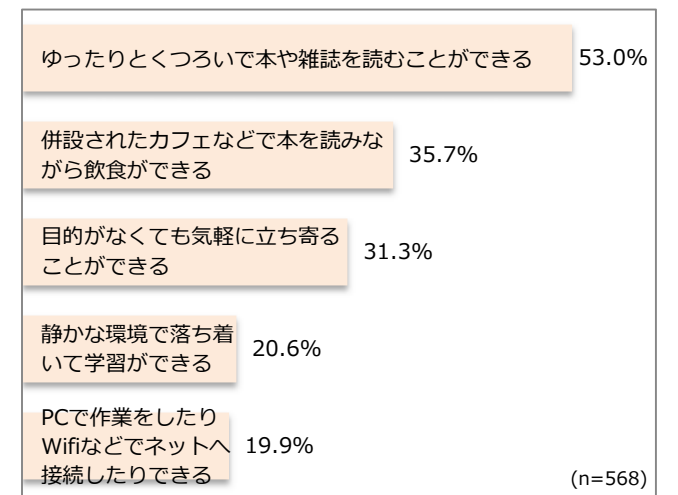
3-2 市民アンケート調査結果（抜粋）

◎本市の図書館の利用状況

- 図書館の利用有無については、「利用したことがある」「利用したことがない」で、ほぼ半数ずつとなっています。
- 利用する目的は「本・雑誌・CD等を借りたり返したりするため」（66.1%）が多く、利用しない理由は「本や雑誌は自分で買う」（28.0%）「県立図書館を利用」（17.5%）が多くなっています。
- 利用したことがある図書館は、「みどり図書館」「桜木図書館」「市立図書館」の順で多く、市立図書館は市内5館中3番目となっています。

◎リニューアル後の市立図書館に望むこと

- リニューアル後の市立図書館に望むことは、「ゆったりとくつろいで本や雑誌を読むことができる」との回答が半数以上となっています。
- また、読書しながら飲食できる環境へのニーズも高く、滞在型の利用に対応した快適な読書環境の提供が望まれていると考えられます。
- その他、気軽に立ち寄ることができる環境、学習環境、ICT環境の充実へのニーズも高くなっています。



2-1-2 類似施設の先進的事例の調査・分析

◎ICTの活用

ICTに触れる機会の提供／ICタグを活用した貸出手続きのセルフ化

◎賑わい創出・滞在性などの重視

屋外スペースの無料提供／公民館・商業施設等の複合機能との連携

◎他機関と連携した特徴的なサービス展開

大学・商業施設・市内関連部署との連携／市民協働による図書館づくり

2-1-3 福井市及び周辺地域の図書情報・文化環境の調査・分析等

- リニューアル後は周辺地域の通勤・通学者層、アクティブシニア層による利用の可能性がります。
- 周辺地域とは施設立地状況に大きな差異がなく、利用促進には魅力ある機能・サービスが必要と考えられます。
- 近年の出版不況・活字離れの中で、本市の人口あたりの出版物年間購入額は常に福井県や全国の平均を上回っています。

4. 市立図書館の課題

4-1 資料面での課題

- (1)中核市における中央館機能を有する図書館に相応しい蔵書の実現・収蔵能力の確保**
中央館機能の強化などを目的とし、蔵書の充実や収蔵能力確保が必要です。
- (2)多様な市民ニーズに合致した資料の収集・提供**
今後は蔵書の新陳代謝を図り、利用者層に応じた資料の収集・提供が必要です。
- (3)高度情報化社会の進展に対応した資料の整備・提供**
紙とデジタル化資料とを効率的に組み合わせ、より広い市民の図書館利用の促進が必要です。

4-2 環境面での課題

- (1)快適な読書環境の確保**
時代の変化やライフスタイルの変化に対応し、ゆっくりと読書を楽しむ場、くつろぎの時間を過ごす場としての環境の充実が必要です。
- (2)児童コーナーの使いやすさへの配慮**
親子連れが安心して利用できる施設・設備や備品の充実が必要です。
- (3)ICT（情報通信技術）の導入**
高度情報化社会に対応した新たな機器や設備（ICタグシステム等）の導入が必要です。

4-3 サービス・利用面での課題

- (1)日常生活や仕事の課題解決を支援するサービスの充実**
仕事や日常生活での個々の疑問の解決を支援するサービスが必要です。
- (2)子どもの読書活動・子育てを支援するサービスの充実**
児童サービスの充実、子育て層へのサービス展開、学校図書館との連携などが必要です。
- (3)高齢者を対象としたサービスの充実**
高齢者の利用増加に対応するため、より利用しやすいサービス、居場所づくり、移動図書館車の充実などが必要です。
- (4)新たな利用者層の創出につながるサービスの展開**
利用したことがない市民のため、利用拡大に向けた働きかけ、サービスの多様化などが必要です。

4-4 まちづくり面での課題

- (1)福井らしさにつながる蔵書の更なる充実**
歴史、文化、作家、地域産業等に関連した資料の更なる充実が必要です。
- (2)他機関と連携したまちなかの賑わい創出につながる事業展開**
近隣の公共施設や学校、商店街等との連携を深め、人と人との触れ合い、交流の創出などに資する事業展開が必要です。

4-5 運営面での課題

- (1)多様なライフスタイルに対応した管理運営形態の実現**
費用対効果を見据えた上で、市民が利用しやすい管理運営形態の実現が必要です。
- (2)効率的・効果的運営に向けた最適な運営体制の実現**
中央館中心に一元化する業務の検討や、今後のサービス向上に向けた多様な主体の参画を含む最適な運営体制等を検討することが必要です。

5. 基本理念及び基本方針（目指す方向性）

5-1 基本理念

「市民とともに成長する図書館」

主役である市民が本を読む・借りるだけでなく、集い、学習し、交流し、課題解決等を行える、市民とともに成長していく図書館を目指します。

市民の声に応え、市民とともに歩む中でその機能やサービスの更なる充実を図り、「市民の成長」、「市民の誇りと愛着」、「市民の交流」、「市民生活の満足感」、「市民一人ひとりに届くサービス網」の創出を図ります。

5-2 基本方針（目指す方向性）

基本理念の実現を図るために、以下の5つのリニューアル後の基本方針（目指す方向性）を設定します。また、それらを考慮し建築整備に関する基本的な考え方を定め、今後の整備の指針とします。

